

QNX ソフトウェア システムズ

リスク軽減。コスト削減。顧客が望む製品の構築。



QNX® ソフトウェア システムズは、リアルタイム OS 技術、開発ツール、豊富な機能を備えたミドルウェア、そしてプロフェッショナル サービスを提供しています。強固な組込み設計のための総合的なエコシステムにより、迅速な開発の支援を行なっています。

リアルタイム OS — QNX® Neutrino® リアルタイム OS は、堅牢なフル機能オペレーティング システムです。OS をスケールダウンし、非常に小さなリアルタイム組み込みシステムの厳しいリソース要件に対応することができます。真のマイクロカーネル OS とモジュラー アーキテクチャにより、信頼性が高く最適化されたシステムの構築が可能となり、しかも全体的なオーナーシップ コストは低くなっています。QNX はまた、マルチコアへのクリーンな移行戦略に対応し、市場実績がある業界で唯一の OS です。

ツール — Eclipse ベースの総合的な IDE (統合開発環境) である QNX® Momentics® ツールスイートは、システム動作を詳しく理解できるイノベティブなプロファイリング ツールを備えています。Momentics のユニークなツール群は、リアルタイム相互作用が一目でわかる機能、メモリ プロファイリング機能などを提供し、デバッグ時間を短縮、製品のより迅速な市場投入を支援します。また、マルチコアに特有なツールも備えておりマルチスレッド環境へレガシーコードをクリーンな形で移行・最適化することができます。

プラットフォーム — QNX は市場に特化したプラットフォームを提供し迅速な開発と市場への製品投入を支援します。

1. QNX CAR プラットフォーム — HTML5 フレームワーク上の多様な機能で複雑な車載インフォテイメント システムに対応
2. QNX 認可取得プラットフォーム — クリティカルなインフラストラクチャ向けの技術に安全性規格認可対応済みの統合コンポーネントを提供
3. QNX メディカル プラットフォーム — 医療機器承認と高信頼性システムに必要なソフトウェアを提供

ユーザーエクスペリエンス — QNX のユーザー エクスペリエンス技術は、多様なマルチメディアと表現力豊かなグラフィックスを備えたユーザー インターフェイスの迅速な開発を支援します。業界をリードする HTML5 フレームワーク、高速 OpenGL ES ドライバ、最適化された Qt サポート、イノベティブなサードパーティ技術により、QNX は複数の開発者コミュニティおよびアプリケーション ニーズに対応します。既存の技術資産の活用が簡単で、しかも多様な技術をブレンドできるので、リッチな組み込み HMI が生まれます。

ハンズフリー — QNX Aviage 音響処理スイートは、ハンズフリーおよび音声認識システムの音質、明瞭性、正確さを改善するアルゴリズムのライブラリです。市場実績に裏打ちされた同スイートは、使いやすいモジュラー構成で提供され、高品質で堅牢なオーディオ ソリューションの構築に対応します。時間とコストのかかる環境ごとの微調整作業は不要です。

QNX の技術は、3つの原則に基づいています。

1. マイクロカーネル アーキテクチャ: バグ耐性に優れ、自己治癒力のあるシステムを実現。迅速な開発、フィールドでのアップグレードが容易
2. 業界スタンダード: 再使用可能なソフトウェア資産、ツールとアプリケーションのポータビリティを提供
3. 統合済みプラットフォーム: すぐに開発に取り掛かれる技術、ローリスクでのプロトタイプ作成、製品の迅速な市場投入

サービス — QNX プロフェッショナル サービスは、開発サイクル全体を通して、コスト効果的なサポートと専門知識を提供します。コンセプト段階、生産段階、保守段階のすべてを通じて、QNX のサービス ポートフォリオは、お客様企業の強みを補い、予定通りの予算と仕様で、エンドユーザーの予想を上回る高品質な製品の完成を支援します。

サポート — QNX ソフトウェア システムズでは、ソフトウェアの移行を強制することがありません。1991年初回リリースの QNX 4は現在もサポートが継続されています。開発者の定着率は業界標準に比べ600パーセントも高く(業界標準の定着期間が13ヶ月に対し、QNXでの平均は7年)、

今後何十年にもわたり、保守、拡張、サポートが可能な製品を構築できるという安心をお客様にお届けします。

エコシステム — QNX にとって、業界との基本的な技術関係は、OSを組み込むシリコンと、OS に対応する人気ミドルウェア コンポーネントに基づいています。QNX では、300社にのぼる優良ハードウェアおよびソフトウェアベンダとのパートナーシップを通じ、開発サイクル全体を通じて必要な技術を選べる柔軟性をお客様に提供します。

概要

設立：1980

本社：カナダ、オタワ市

全世界で事業展開

- ドイツ ハノーバー、ミュンヘン
- 日本 東京
- 中国 上海、北京
- 韓国 ソウル

正規代理店：6大陸40カ国で販売

主要市場

- 車載テレマティクスとインフォテイメント
- 産業制御とビルディング オートメーション
- 医療機器
- ネットワーキングとテレコム
- 軍事、セキュリティ、防衛

主要技術パートナー

- Advantech
- Freescale
- Intel
- Kontron
- NVIDIA
- Renesas
- Texas Instruments

テクノロジー リーダーシップ

1980：商用として業界初のマイクロカーネル RTOS

1984：業界初、唯一の透過分散処理機能を備えた RTOS

1993：業界初の POSIX 準拠 RTOS

1994：業界初のマイクロカーネル ベース ウィンドウシステム

1997：業界初の SMP 対応 RTOS

2002：組込み向けとして最初の Eclipse ベース IDE

2005：業界初、唯一のアダプティブパーティショニング機能対応 RTOS

2009：業界初の自動車向けアプリケーションプラットフォーム

2010：業界初の EAL 4+、SIL3 認可対応マルチコア RTOS

2012：業界初の自動車向け HTML5 フレームワーク

対応規格

- IEC 安全度水準 (SIL 3)
- コモン クライテリア セキュリティ保証 (EAL 4+)
- ISO 9001:2008
- POSIX PSE52 リアルタイム コントローラ 1003.13-2003
- OpenGL ES 認可実装
- 医療機器用 IEC 62304 ソフトウェア ライフサイクル

業界における受賞歴

1995：Byte 誌、エディターズ チョイス賞

1997：Jolt プロダクティビティ賞

1998：Financial Post 賞、カナダ優良管理企業トップ50

2002：Fortune 誌「製造業のヒーロー」

2003：Software Development Times トップ100

2004：Embedded World 組込み賞 (ソフトウェア部門)

2006：Embedded World 組込み賞 (ソフトウェア部門)

Frost and Sullivan 自動車ソフトウェアイノベーション オブ ザ イヤー賞

Eclipse コミュニティ賞
最優秀コントリビュータ

2007：Eclipse コミュニティ賞 最優秀開発ツール
中国 EDN イノベーション賞

Software Development Times トップ100

2008：Elektra 賞 (組込みシステム部門)

Intel Embedded and Communications Alliance 優秀賞

2009：Adobe MAX 賞 (モバイル部門)

Dataweek プロダクト オブ ザ イヤー賞

2010：Telematics Detroit 賞 ベストテレマティクスコンポーネントカテゴリ (QNX CAR アプリケーションプラットフォーム)

2012：ベストオブ CES 賞 (自動車技術カテゴリ)

2013：CES イノベーション 2013
設計エンジニアリング賞